

11月10日（土）、関西慶應寮和会 第14回定例懇談会は、秋晴れの晴天のもと、京阪電鉄寝屋川車庫とパナソニックミュージアムの見学を、20名の参加で行いました。

<参加者> 敬称略 (20名：部分参加も含む)

相本 琢郎 (S41法)	酒井 克己 (S42法)	飛鳥 久範 (S43経)
井汲 清嗣 (S45文)	宮 純一 (S46商)	高橋 周 (S47経)
中矢 隆雄 (S47政)	松尾 哲雄 (S47経)	若林 良 (S48医)
三角 竜二 (S49工)	西村 元秀 (S53商)	山代 和也 (S55法)
阪本 光宏 (S61商)	小堀 誠 (S63商)	豊田 秀明 (H03理)
井内 達彦 (H04商)	淨住 徹朗 (H05経)	兵藤 公治 (H10理)
宮崎 博 (H16経)	松永 修 (S58工)	

I 第14回定例懇談会 テーマ：「関西企業に学ぶ」

今回は、大阪から京都、大津と関西の通勤、観光を支える京阪電鉄の寝屋川車庫と、今年創業100周年を迎えるパナソニックのミュージアムを見学しました。

【第1部】平成30年度総会

13:10～13:30 参加20名

松尾会長からのご挨拶の後（写真1）、阪本事務局長補佐から、第Ⅲ期のうち、平成30年1月1日から平成30年11月10日までの事業について報告がありました。続いて、同じく阪本会計担当から、第Ⅲ期のうち、平成30年1月1日から平成30年12月31日までの収支について報告がありました。

【第2部】京阪電鉄寝屋川車庫見学

13:30～14:45 参加20名

冒頭、京阪電鉄の豊田車両部長(H03卒)から会社ならびに車両工場の概要説明を受け、その後に見学をスタート。寝屋川車庫は京阪電鉄に4つある車庫の中で最大、何と甲子園球場3個分の広大な面積を誇るということで、その広さに先ず驚かされました。



写真1. 松尾会長よりご挨拶



写真2. びわこ号車内で豊田部長からご説明

最初に向かったのが、昭和九年に製造され、現在は近代化産業遺産として静態保存されている60型『びわこ号』。かつて、天満橋－浜大津間を直通で運転していた車両は、流線型の外観に、木製の内装、現代人にはやや小さな座席を電球が暖かく照らし、レトロでありながらモダンな車両でした。車内で説明を受けた後、電車の正面で記念撮影をしました。（写真2・3）

次に向かったのが、車両工場です。電車の分解や整備、塗装などの保守作業の様子を見学しました。場内は整理整頓が行き届いており、部品・工具類は全て所定の位置にきれいに置かれていました。絶対安全が求められる現場の厳しさを肌で感じる事が出来ました。

見学後の質疑応答では、鉄道マンとしての心構えや人材育成に関する質問に対し、階層別での研修は勿論のこと、車両の保守・設計業務を直営化で行うことにより、知識や技能を維持・向上することが出来るとのこと。その考え方や実践についても大変勉強になりました。



写真3. 60型『びわこ号』の前で



○京阪電鉄ホームページより

<https://www.keihan.co.jp//taraffic/railfan/ns/>

【第3部】パナソニックミュージアム見学

15:30～17:00 参加20名

ミュージアムに到着し、松下幸之助創業者の像の前で集合写真を撮影。（写真4）その後、松下幸之助歴史館とものづくりイズム館を、社員の方のガイド説明を聞きながら巡りました。



写真4. 松下幸之助創業者の像の前で

パナソニック（当時の松下電器製作所）は、1933年に事業発展に伴い大阪市福島区の社屋から現在の門真市に移転、松下幸之助記念館は移転当時の社屋を模しています。（写真5）

そこでは、松下幸之助創業者の歩みを順に巡る構成になっていました。

<各ブースのテーマ>

礎(いしずえ)⇒創業⇒（創業の家）⇒命知⇒苦境⇒飛躍⇒打開⇒経世

記者は、松下幸之助創業者の考えを書籍などで知る機会が多かったのですが、今回は松下幸之助創業者が94年の生涯の中で、幾多の苦難を乗り越える中で見出した経営感や人生観を学び直すことが出来、非常に有意義な時間でした。

ものづくりイズム館では、パナソニックの歴代の代表的な製品が展示。パナソニックのものづくりに対しての考え方がテーマごとに示されており、商品に関する考え方が改めて解りました。

最後のコーナーでは、「くせ者家電」と称して、電気カンキリなどユニークな商品が展示されており面白く感じると共に、そのアイデアに改めて感心しました。

○パナソニックミュージアム ホームページ

<https://www.panasonic.com/jp/corporate/history/panasonic-museum.html>

【第4部】懇親会・納会

17:40～20:00 参加20名

パナソニックミュージアム見学後、京橋に移動し居酒屋「彩花」で懇親会を開催しました。

松尾会長からの挨拶に始まり、和気あいの雰囲気で大いに盛り上がりました。（写真6、7）

宴会の中ほどには、久しぶりに出席された飛鳥さんと若林さんからのご挨拶がありました。



写真5.松下幸之助記念館 玄関



写真6.盛り上がる宴会 part1

宴会の締めは、西村さんのエールで若き血を皆で熱唱。
 塾旗の前で、全員で写真を撮影。次回での再会を誓い合い、閉会としました。
 (写真8)
 その後、三々五々、京橋の街に二次会で繰り出しました。

II 編集後記

定例懇談会も14回目を数えますが、会員の勤務する会社の施設を訪れたのは第6回（京都蹴上）以来で久しぶりでした。

最初に訪れた京阪電鉄寝屋川車庫では、鉄道ファンにはたまらない場所ですが、今回は交通機関の生命線である安全の徹底や人材育成について改めて考える機会を持つことが出来ました。

また、車両をきちんと保守して大事に長い年月使う。このことは関西の電鉄会社の特長とのことですが、京阪電鉄の強さに繋がっているように思います。

パナソニックミュージアムでは、松下幸之助創業者の足跡から、心に残る言葉を、皆様お土産に持ち帰られたと思います。

私が好きな言葉は「素直な心」、お客様や部下・関係者の声をとらわれの無い心で物事をありのまま見ようとすること。なかなか出来ることではないのですが、日ごろから大事にしていきたいと思います。

本記事を書いていると、大阪万博開催決定のニュースが飛び込んできました。企業の東京一極集中が言われて久しいですが、これを機会に大阪の発展にアクセルがかかればと思います。そのためにも大阪企業が元気であることが不可欠ですが、その考え方に直接触れることが出来、大変勉強になりました。

末筆になりますが、来年もまた楽しい企画を考えて会員の皆様と一緒に楽しみたいと考えています。幹事も張り切っていますので、皆様の誘い合っのご参加を宜しくお願いします。

以上



写真7.盛り上がる宴会 part 2



写真8.塾旗の前で